

D1 深層インタラクション

ロボット／アバターと共生する社会の深層インタラクション

概要

深層インタラクション総合研究所では、ロボットやアバターが共生する快適な社会に向けて、人と人、人とアバター、人とロボット、人と社会の関わり(インタラクション)を深く理解する研究開発に取り組んでいます。ここでは、人に寄り添うロボット、サイバネティックアバター、対話ロボットやアバターの社会的表出、大学や企業と連携した社会実装について紹介します。

特徴

- 人とロボットが触れ合えるソーシャルタッチ、人とロボットの共生に向けたモラルインタラクション、人の存在感を伝えるアンドロイドロボット、新しい社会参加の方法を探るサイバネティックアバターなどを研究開発しています。
- 人、AI、ロボット、アバターが高度に関わり合う社会で、わたしたちがどのように活躍できるのか、ロボットやアバターの在り方、関わり方、などを、認知科学的／生物学的／ロボット学的／経済学的に研究しています。
- 先端研究だけでなく、研究開発成果の社会実装を大学や企業と連携して推進しています。連携方法は、共同研究、共同開発、技術コンサルティング、など様々です。社会実装のフェーズや状況にあわせて柔軟に進めています。

今後の展開

- 「インタラクションを深く知ることによって心地よい未来を創る」というビジョンのもと、深層インタラクションに関する先端研究と社会実装をともに実施して、人の気持ちに寄り添った心地よい百寿社会を目指します。

テーマ「ともに究め、明日の社会を拓く」との関連

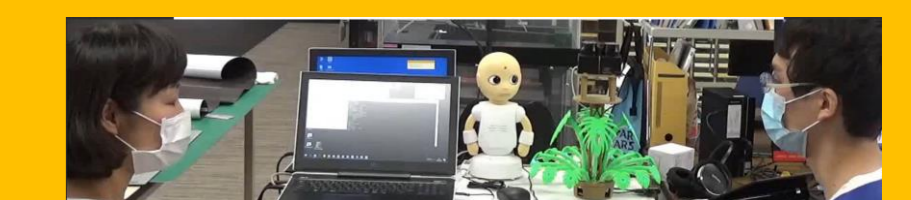
- いま社会は、人、AI、ロボット、アバターが複雑に関わり合っています。深層インタラクション研究は、この関わりを少しずつ紐解き、よりよい関わり合いを持てる明日の社会を拓くことに貢献します。

D2 ソーシャルタッチ



対話ロボット・アンドロイド

D3 社会的表出



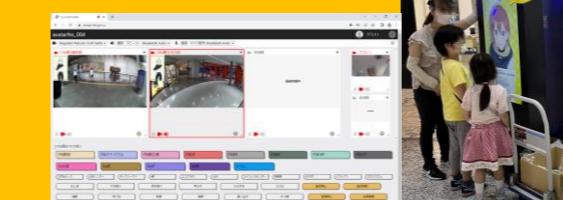
D4 社会実装に向けた取組



深層インタラクション

アバター共生社会・サイバネティックアバター (CA)

D5 CA基盤



D7 移動型CA



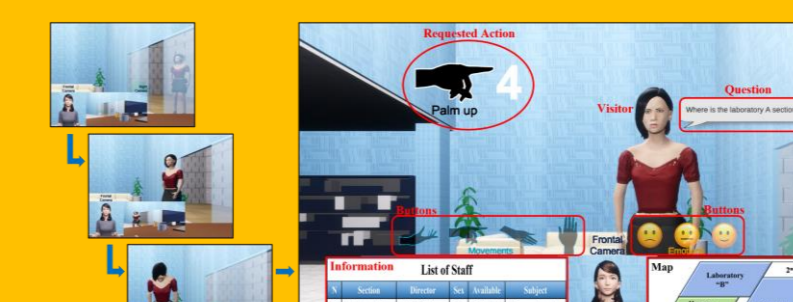
D6 アンドロイドアバター



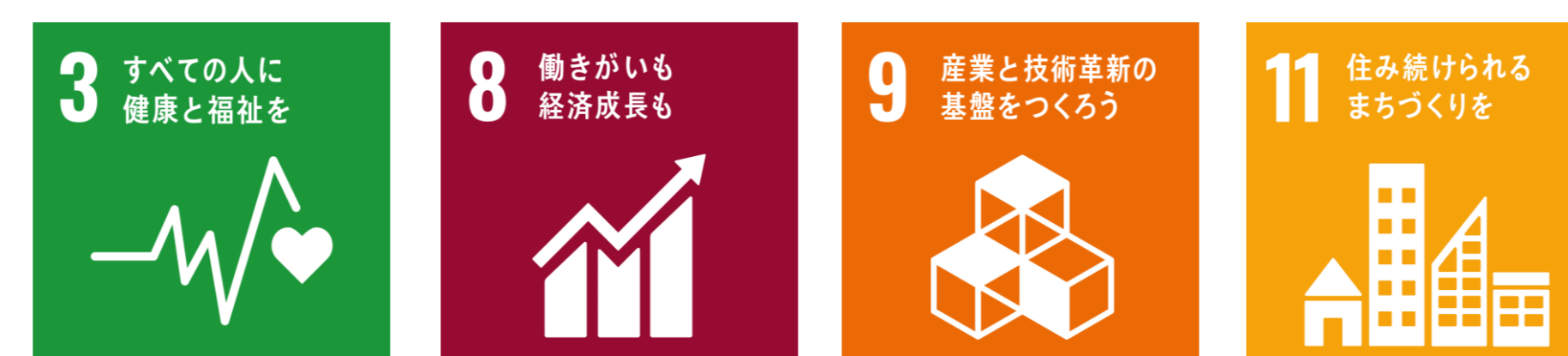
D8 モラル



D9 身体への影響



D10 社会実装に向けて



連絡先: インタラクション科学研究所／インタラクション技術バンク
 担当 宮下 敬宏 E-Mail: miyasita@atr.jp

本研究は、JST CREST JPMJCR18A1、JSTムーンショット型研究開発事業 JPMJMS2011、文部科学省科学研究費助成事業「新学術領域研究」人間機械共生社会を目指す対話知能システム学(対話知能学)、JSPS科研費およびJSTの助成の支援を受けたものです。